

Message 先輩職員たちの声

機械 下水処理を止めない、機械設備の支え手

上下水道局下水道部島羽水環境保全センター水処理第1課(令和5年度採用)

下水処理場に設置されている機械設備の維持管理に携わっています。施設内には数多くの機器があり、定期的な整備委託や不具合発生時の修繕に向けて、仕様書の作成や設計・積算、業者への発注を行っています。軽微な作業については、自分達で修繕や整備を行うこともあります。下水処理は市民の生活はもちろん、国内外から多くの人が訪れる京都の環境を支える重要なインフラです。目立つ仕事ではありませんが、設備が安定して稼働し続けることで、日常が当たり前を保たれていることに、この仕事の価値を感じています。多職種と連携しながら知識を深め、学び続ける姿勢を大切にしつつ、京都市の上下水道事業を足元から支え続けていきたいです。



化学

検査と分析で守る、京都の水の安全

上下水道局技術監理室水質管理センター水質第1課(令和6年度採用)

京都市内全域の給水栓を対象とした水質検査や、琵琶湖を含む水道原水の水質試験を行い、安全な水を市民に届けるための確認を日々積み重ねています。採水のために山間部まで足を運ぶこともあり、現場と実験室の両方で業務に向かっています。水質検査では多様な分析機器を用い、結果を一つひとつ確認します。この地道な積み重ねが、市民の方の安全・安心に繋がっていると思うと、やりがいを感じます。調査研究の成果を学会で発表したり、浄水場で使用する薬品の規格試験や小学生向け講座を担当したりと、専門性をいかせる場面も多くあります。今後も専門性をいかにしながら、水の安全を支える役割に丁寧に向き合っていきたいです。



農林 (農林整備)

京都の森林を未来へつなぐ

産業観光局京北・左京山間部農林整備センター(令和5年度採用)

京都の森林を健全に育成し、木材の生産を支えるため、補助金の交付や法令手続の相談など森林所有者や林業者をサポートする業務を担当しています。林業は良質な木材を生産するため、植林から伐採までの長い年月、丁寧に手入れを行いますが、現場の努力だけでは難しい状況にあります。森林所有者や林業者に寄り添いサポートするには、法令や制度の理解はもとより、現場に入り森林を知ることが重要になるため、毎日が学びと発見の連続で、充実しています。京都の森林を守り、未来へ引き継ぐことができるこの仕事に、やりがいを感じています。今後も知識を吸収し、自ら考え施策を提案できる職員として、京都の森林を支えていきたいです。



環境

環境リスクを未然に防ぐ、静かな積み重ね

環境政策局環境企画部環境保全創造課(令和5年度採用)

土壌汚染対策法に基づく届出の審査業務を担当しています。市内で行われる土壌調査や掘削工事について、有害物質による健康リスクが生じないよう、法律に沿って実施されているかを確認・指導しています。土壌汚染に伴う健康リスクを未然に防ぐために、日常の管理を徹底することが重要です。一件一件の審査や助言の積み重ねが、市民の生活環境を守ることに繋がっていると感じています。配属当初は戸惑うこともありましたが、経験を重ね、今では自信を持って業務に向き合えるようになりました。今後も知識を深め、京都市の環境を守る役割を担っていきます。



職員採用専用HPで「先輩職員の声」を随時更新中！インタビュー動画もぜひ御覧ください！

詳しくはこちら▶



土木保全

現場で支える、道路・公園の維持管理

建設局伏見土木みどり事務所(令和6年度採用)

道路や公園など公共土木施設の維持管理を担当しています。日常的なパトロールをはじめ、市民の皆様と協働した維持管理の推進、異常気象時の応急復旧対応、小規模修繕の施工計画や施工管理など、現場に近い立場で業務に携わっています。民間企業で働いていた頃と比べ、市民の方と直接お話しする機会が増え、不安や不満を受け止めながら改善につなげていく点に、この仕事ならではの意義を感じています。要望に迅速に対応し、感謝の言葉をいただいたときには、地域の暮らしを支えている実感が強くなります。今後も災害復旧の迅速化や構造物の長寿命化など、知識や技術を吸収し、質の高い市民サービスを提供することを目標にしたいです。



消防職

人とまちを守る消防の現場で、確かな一歩を重ねて

消防局伏見消防署副消防分署(令和6年度採用)

消火活動や救助活動を担う消防隊員として勤務しています。火災・救助・救急などの災害現場に出動するほか、24時間勤務の中で火災予防や防災指導など様々な業務を行っています。いつ起こるか分からない災害に備え、日々の訓練を積み重ね、その成果を災害現場で発揮できたときにこの仕事ならではの達成感を覚えます。京都市には世界文化遺産をはじめ貴重な文化財が数多くあり、京都のまちの景観や文化財を未来につなげていくことも私たちの使命です。これからも経験を重ねながら知識や技術を磨き、京都のまちと人々の命を守る消防士を目指していきたいです。



学校事務職

学校運営を支える、学校事務職員という仕事

京都市立伏見小学校(令和5年度採用)

学校事務職員として、校内予算の管理や執行、教職員の給与・旅費事務、就学援助事務などを担当しています。複数の業務を同時に進める場面も多く、スケジュール管理を意識しながら教職員と連携して仕事を進めています。京都市では、学校事務職員も「チーム学校」の一員として、学校運営や教育活動に関わり、子どもたちが学ぶことの楽しさを感じられる環境づくりに貢献できる点が魅力です。先生方と相談しながら購入した教材で子どもたちが生き生きと学ぶ姿を見たとき、とてもやりがいを感じます。これからも子どもたちや先生方の声に耳を傾け、課題に柔軟に対応し、学校全体を支える存在として成長していきたいです。



薬剤師

暮らしを支える予防で、市民の健康を守る

保健福祉局医療衛生推進室医療衛生センター(中部方面担当)(令和5年度採用)

行政薬剤師として保健所業務に携わっています。食品衛生や生活衛生、動物愛護など、日常生活に密着した分野を担当し、飲食店や理美容所、飲用水などが基準に沿って管理されているかを確認しています。行政薬剤師の仕事は、病気が起こってから対応するのではなく、原因となり得る要素を事前に取り除く「一次予防」を担う点が特徴です。食品や生活環境の安全を確保することで、市民が健康に暮らし続けられる基盤を支えています。業務は多岐にわたりますが、専門性を生かして分野に関われる点にやりがいを感じています。今後も知識を深め、市民に寄り添った対応を大切にしながら、公衆衛生を支える存在として成長していきたいです。

